

2 管内の状況、分析及び改善の方向性

空 知 管 内

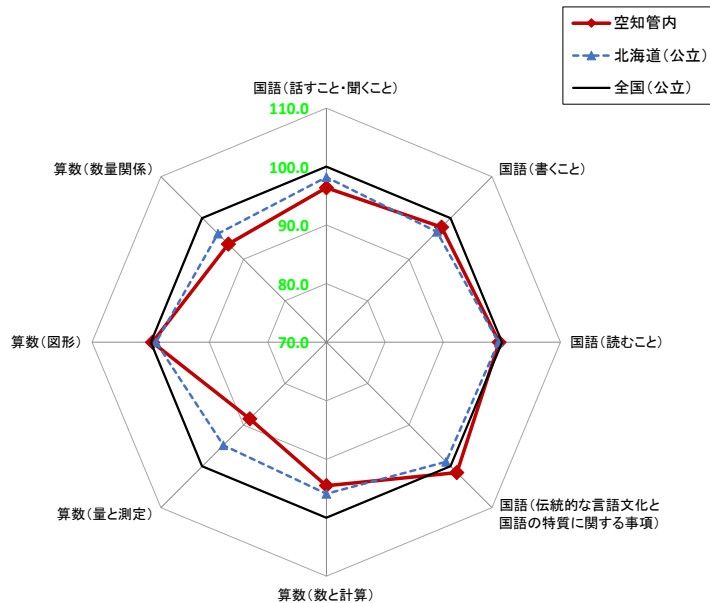
10市14町

■ 小学校の状況(学校数:64校、児童数:1,925人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの

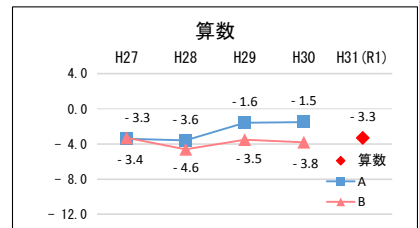
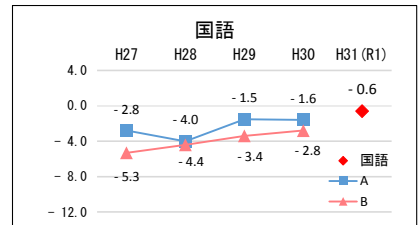
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率】

	国語	算数
空知	63[63.2]	63[63.3]
全国	64[63.8]	67[66.6]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

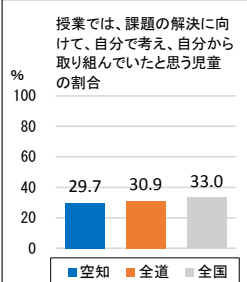


※「管内の平均正答率ー全国(公立)の平均正答率」の経年変化

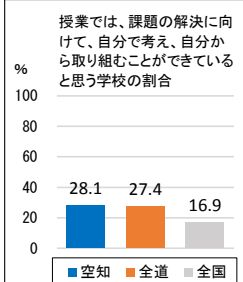
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

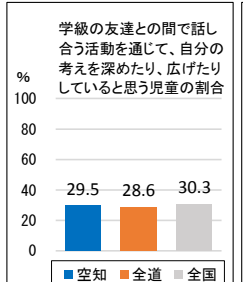
* 児童質問紙



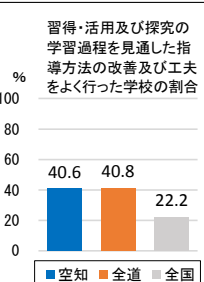
* 学校質問紙



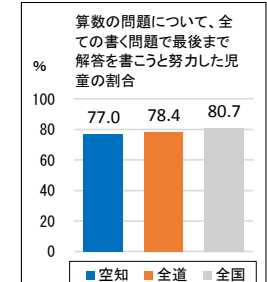
* 児童質問紙



* 学校質問紙

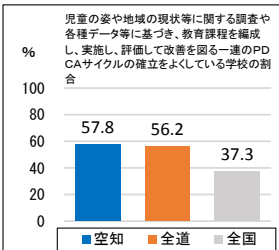


* 児童質問紙

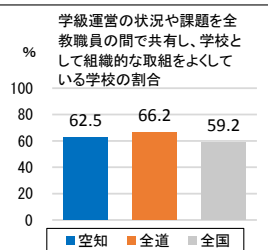


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

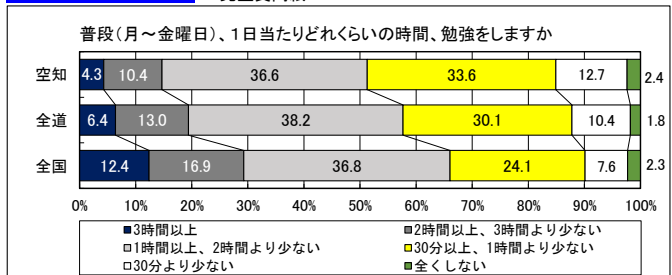


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



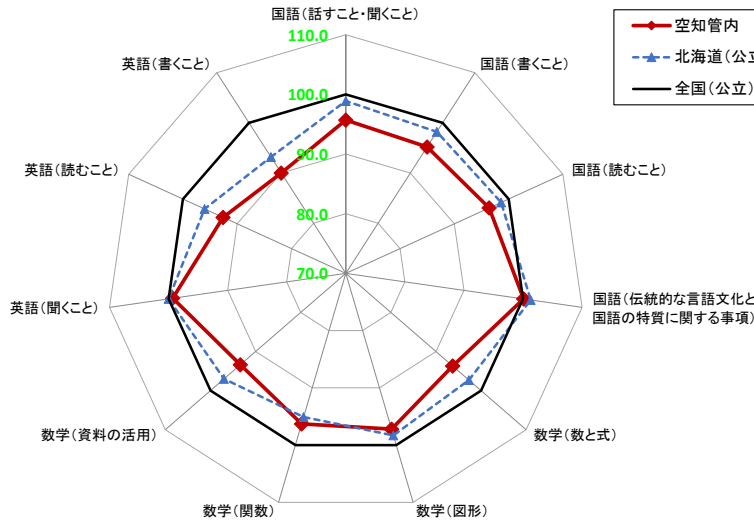
【分析及び改善の方向性】

分析	○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよしている学校の割合は57.8%であり、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は29.7%で、全国を下回っており、課題である。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は51.3%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	○ PDCAサイクルの確立をよしている学校の割合が6割に達していないことから、各種調査問題が、これまでの学習内容の習得状況とこれからの学習活動を支えるものと捉え、S-P表を活用した集団と個人ごとの習得状況の分析を行うとともに、分析に基づいた指導を行い、その結果を「調査問題の解き直し」により確認する取組を進める必要がある。 ○ 課題解決に向け、主体的に取り組んでいると思うと回答した児童の割合が3割に達していないことから、単元を通して、見通しを立てたり、振り返りして、学びの成果や自己の変容を自覚できる場面を設定するなど、「見通す」「振り返る」学習活動を確実に位置付けた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む必要がある。 ○ 普段、1日当たり1時間以上勉強をする児童が全国に比べて約15%少ないことから、学習習慣の定着に課題があると捉えられるため、校内の教職員で共通理解を図り、具体例を挙げながら、家庭での学習方法について指導するとともに、中学校区の定期テストに合わせた小・中学校連携による「家庭学習強化週間」を位置付けるなど、学習習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

■中学校の状況(学校数:41校、生徒数:1,915人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

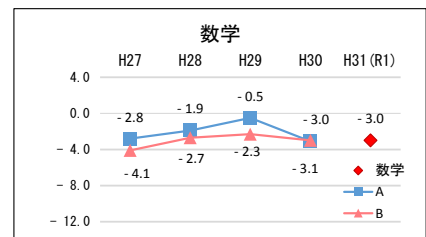
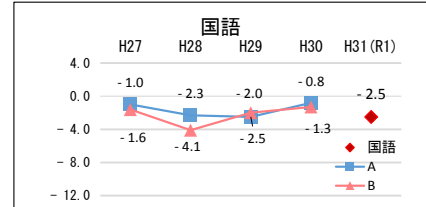


【平均正答率】

	国語	数学	英語
空知	70[70.3]	57[56.8]	53[52.9]
全国	73[72.8]	60[59.8]	56[56.0]

※英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

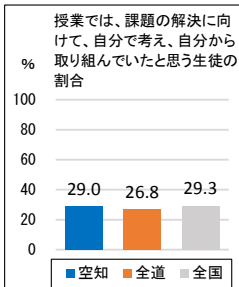


※「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

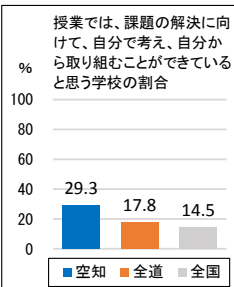
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

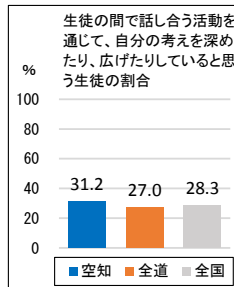
* 生徒質問紙



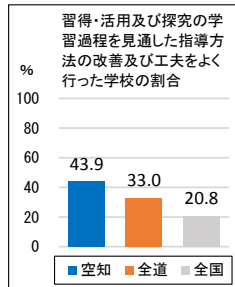
* 学校質問紙



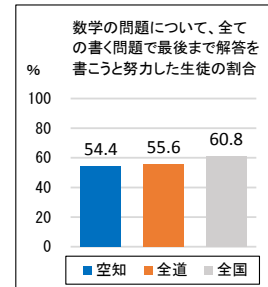
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

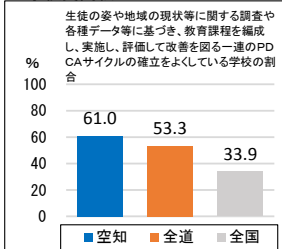


* 生徒質問紙

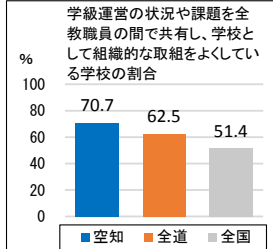


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

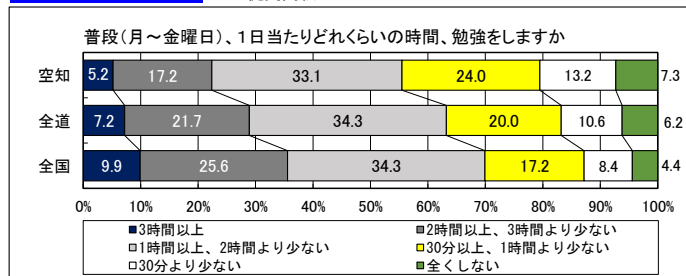


* 学校質問紙



学習習慣

* 生徒質問紙



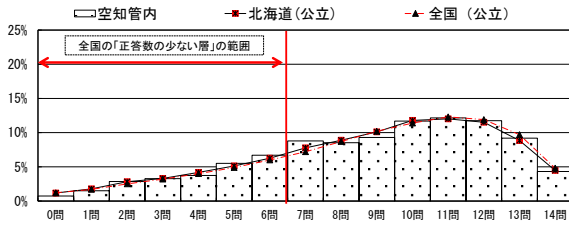
【分析及び改善の方向性】

分析	○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は61.0%であり、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は29.0%で、全国を下回っており、課題である。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は55.5%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	○ PDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合が6割程度であることから、各種調査問題が、これまでの学習内容の習得状況とこれからの学習活動を支えるものと捉え、S-P表を活用した集団と個人ごとの習得状況の分析を行うとともに、分析に基づいた指導の結果を「調査問題の解き直し」により確認する取組を進める必要がある。 ○ 課題解決に向け、主体的に取り組んでいると思うと回答した生徒の割合が3割に達していないことから、単元を通して、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びの成果や自己の変容を自覚できる場面を設定するなど、「見通す」「振り返る」学習活動を確実に位置付けた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む必要がある。 ○ 普段、1日当たり1時間以上勉強をする生徒が全国に比べて約14%少ないことから、学習習慣の定着に課題があると捉えられるため、校内の教職員で共通理解を図り、具体例を挙げながら、家庭での学習方法について指導するとともに、中学校区の定期テストに合わせた小・中学校連携による「家庭学習強化週間」を位置付けるなど、学習習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

3 正答数の状況(正答数の少ない層の割合)

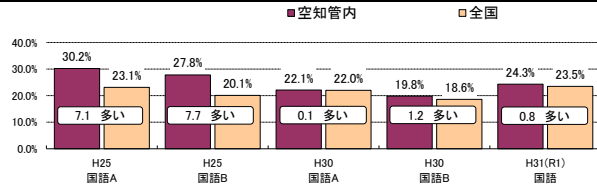
空知管内

小学校国語					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,925	8.8 / 14	63.2	9.0	3.3
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4

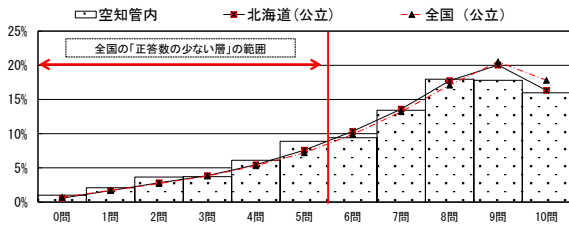


●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

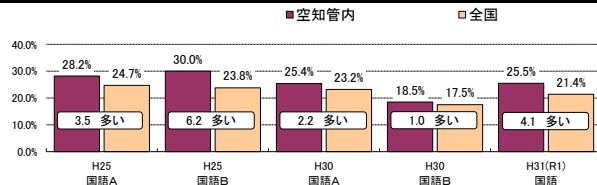


中学校国語					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,915	7.0 / 10	70.3	8.0	2.5
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4

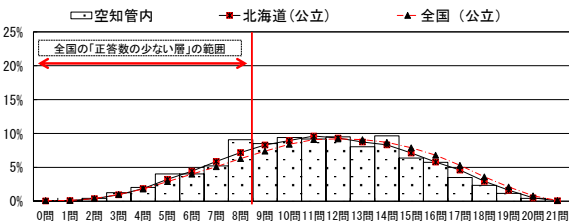


●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

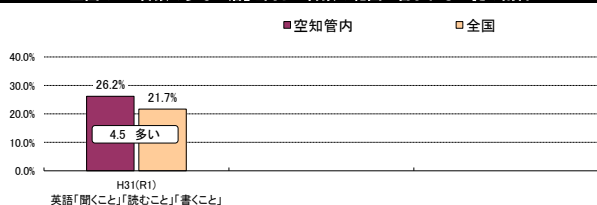


中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,916	11.1 / 21	52.9	11.0	3.7
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9

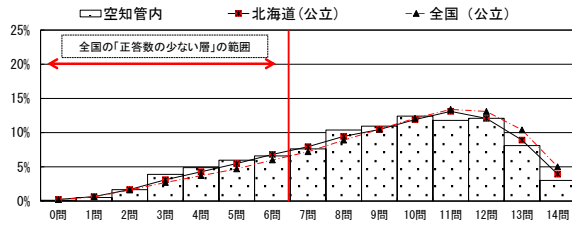


●全国の「正答数の少ない層」は、8問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

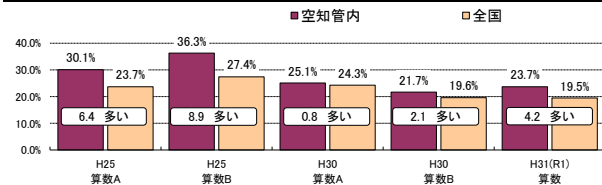


小学校算数					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,926	8.9 / 14	63.3	9.0	3.1
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1

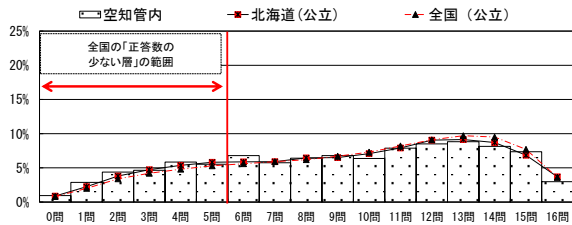


●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

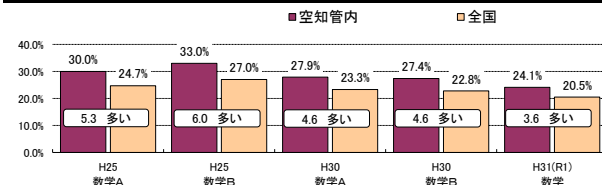


中学校数学					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,916	9.1 / 16	56.8	10.0	4.3
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2



●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



【参考】【平成28年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

空知管内	全国
26.2%	21.3%
全国との差 4.9	多い

小学校国語B

空知管内	全国
37.2%	29.8%
全国との差 7.4	多い

小学校算数A

空知管内	全国
29.3%	24.2%
全国との差 5.1	多い

小学校算数B

空知管内	全国
25.5%	20.0%
全国との差 5.5	多い